

令和5年度主要事業

公営企業局（公営企業会計）

【水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業】

令和5年2月

尼崎市公営企業局

【ありたいまちの実現に向けた取組】

公営企業局の各事業は、次に記載のビジョン、経営計画に基づき施策を実施していきます。

水道・工業用水道事業 ・ ・ 「あますいビジョン2029」（令和2～11年度）

下水道事業 ・ ・ 「あまがさき下水道ビジョン2031」（令和4～13年度）

モーターボート競走事業 ・ ・ 「尼崎市ボートレース事業経営計画」（令和1～5年度）

水道・工業用水道事業会計

安全な水を安定して届ける

- 1 水道事業の施設のあり方 …P.3
- 2 工業用水道事業の施設のあり方 …P.4
- 3 管路の計画的更新と維持管理 …P.5
- 4 配水ブロック化 …P.6
- 5 鉛製給水管の解消 …P.7

下水道事業会計

まちの暮らしを支える

- 6 スtockマネジメント手法を取り入れた施設の維持管理 …P.8
- 7 コンパクト化と統廃合検討を踏まえた施設の建替え …P.9

災害から守り備える

- 8 応急給水拠点の整備及び市民や地域との連携の充実 …P.10
- 9 マンホールトイレの設置・設営の推進など避難所等でのトイレ機能の確保 …P.11
- 10 雨水ポンプの能力増強や雨水貯留管の整備による施設能力の強化 …P.12

将来へ事業をつなげる

- NEW** 1.1 経営の効率化 …P.13
- NEW** 1.2 広報・広聴 …P.14

モーターボート競走事業会計

ボートレースを通じ、お客様に感動を与え、尼崎のまちづくりに寄与する

- NEW** 1.3 次期尼崎市ボートレース事業経営計画事業 …P.15
- 1.4 売上向上事業 …P.16
- NEW** 1.5 施設整備事業 …P.17

1 水道事業の施設のあり方 (浄水場の設備更新ほか)

令和5年度 当初予算	52,106千円	令和4年度 当初予算	133,109千円	令和3年度 決算	82,413千円
---------------	----------	---------------	-----------	-------------	----------

目的 人口減少に伴う水需要の減少は続き、施設能力と水需要との乖離は広がっていくと考えられるため、令和12年度以降の神崎浄水場配水場化^{*}を踏まえ、将来の投資や維持管理費用の削減を図ります。

令和5年度の事業内容 【神崎浄水場の再整備】
配水場化後も必要な施設である「中央管理棟」や「配水ポンプ棟」の建替え等の再整備を行います。



写真 神崎浄水場再整備対象施設 (○が対象施設)

① 神崎浄水場再整備事業官民連携手法導入可能性調査
再整備の実施にあたっては「尼崎市PPP/PFI手法導入優先的検討方針(平成30年1月)」に基づき、官民連携(PPP/PFI)手法を用いることで経済的かつ効率的な整備や運転管理が可能であるかを本業務で検討します。

【神崎浄水場の機能維持】
神崎浄水場を配水場化するまでの間、安定供給機能の維持に必要な施設整備を行います。

② 神崎浄水場園田系沈殿池流量計更新工事等
園田配水場(上水分)及び江口取水場(工水分)からのトータル水量を計測している流量計は、浄水処理の各種自動制御に用いられますが、劣化が判明したため更新を行います。また、同時に設置された連絡管用についても更新を行います。



写真 神崎浄水場流量計

計画 【施設のあり方の検討】

① 検討の経緯
神崎浄水場の浄水機能を当面は維持するのか、浄水機能を廃止して配水場化するのかを検討するうえで、阪神水道企業団(以下、「阪水」という。)からの受水と自己水の保有バランスがポイントとなります。
神崎浄水場については、今後の水需要の動向を見据えながら、浄水機能の停止による配水場化の時期を慎重に見極める必要があります。そのような中、市内配水量の約8割を担う阪水からの受水量を削減する取組を進めており、水需要減少により余剰となる受水量を削減することを目標としています。
また、阪水猪名川浄水場の改修工事に合わせた施設規模の縮小(ダウンサイジング)を令和9年度に予定しており、これに伴い、分賦基本水量(受水量)が見直されることから、本市にとって最大限の受水費削減ができるよう協議・調整を進めています。

② 令和5年度以降
阪水の受水量削減の取組により確定した受水量を考慮した最適な施設のあり方に基づき、官民連携(PPP/PFI)手法導入可能性調査等を踏まえた神崎浄水場再整備基本計画を策定し、再整備を実施していきます。

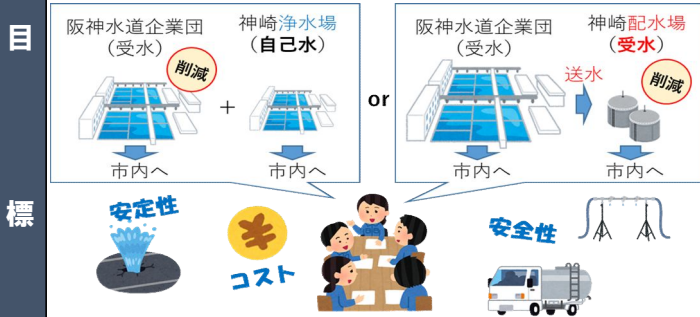


表 神崎浄水場再整備事業スケジュール

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
受水量削減に関する協議		R3~R4	☆	☆					
神崎浄水場再整備基本計画策定支援業務委託		R3~R4							
官民連携(PPP/PFI)手法導入可能性調査業務			R5						
事業実施支援業務&施設再整備				R6~R11					

注: ☆は基本計画策定、☆は費用負担見直しの適用はR9から、☆は中央管理棟や配水ポンプ棟の整備

備考 ※ 神崎浄水場の配水場化について
浄水場には、水道水を作る浄水機能と、その水道水を一旦溜(た)め供給する配水機能があります。水需要や人口の減少を踏まえ、将来の投資や維持管理費用を削減するため、神崎浄水場の浄水機能の廃止を検討するものです。なお、配水場化にあたっては、水道水の供給を受ける阪水が今後実施するリスク対策の状況を考慮する等、本市水道供給システムの安全性・安定性が十分に確保できることを慎重に検討し、神崎浄水場の浄水機能の見直しを行います。

2 工業用水道事業の施設のあり方 (配水場の設備更新ほか)

令和5年度 当初予算	83,843千円	令和4年度 当初予算	78,238千円	令和3年度 決算	444,058千円 (令和2年度繰越12,484千円を含む)
---------------	----------	---------------	----------	-------------	-----------------------------------

目的

工業用水道は、ユーザー企業の工業用水の使用廃止に伴う給水収益の減少が続いている状況です。そのため、将来の施設のあり方について、他の事業者と連携して検討を行うなど、工業用水の安定した供給の継続を目指します。

令和5年度の事業内容

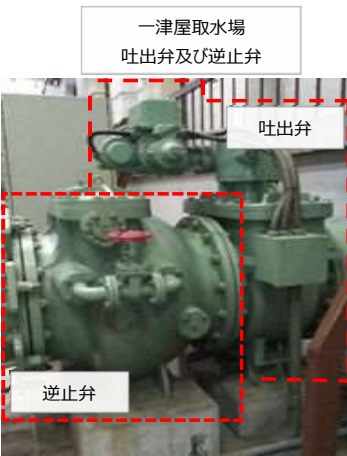
【園田配水場】

① 園田配水場尼工流調弁更新工事
市内需要に合わせて配水量を調整している重要なバルブであり、経年劣化により突発的な故障が想定されるため、予防保全の観点から更新します。



【一津屋取水場】

② 弁類更新
経年劣化が激しい導水ポンプ用吐出弁と逆止弁を更新します。



【江口取水場】

③ 江口取水場受変電設備等更新工事等
設置後30年以上が経過する受変電設備及び設置後50年以上が経過する導水ポンプ2台等を令和5年度から3ヵ年工事により更新します。また、既設監視制御装置の機能増設も併せて実施します。
<債務負担行為(R5~R7)計704,804千円>



【工業用水道の広域化に関する検討について】

計画目標

① 検討の経緯

現在、本市の工業用水は、西宮市、伊丹市との三市共同施設である園田配水場と、尼崎市の施設である神崎浄水場から配水する形態となっており、これらの施設は今後、更新時期に差し掛かってくることからより効率的な更新計画が必要です。一方で、水道水の供給を受けている阪神水道企業団の猪名川浄水場施設の一部が余剰となることから、工業用水施設としての活用検討を関係五者(神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、阪神水道企業団)間で実施し、今後の整備費用等の比較を行った結果、園田配水場を継続して利用する方が整備に係る費用を抑制できるため今後も既存施設を利用する方向性を決定しました。

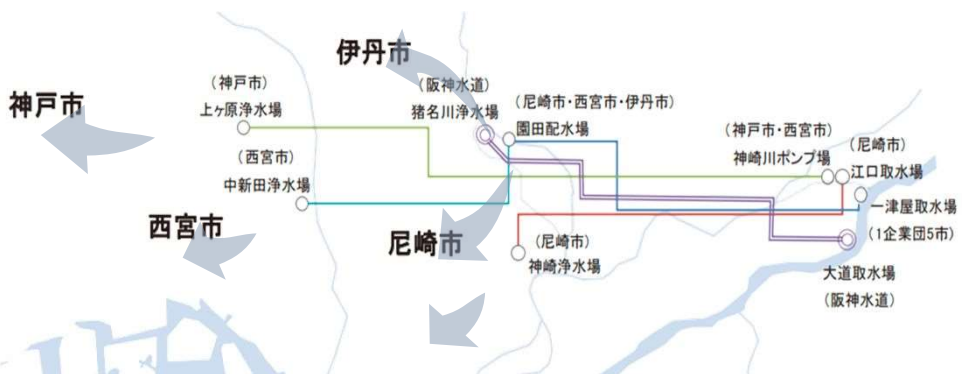
② 令和5年度以降

令和5年度以降は、老朽化する設備の更新を行うとともに、概ね20年先に控える施設の更新に向けたアセットマネジメント方針を三市の工水需要を踏まえ、あますい実施計画<後期>の期間で検討します。

◇阪神間における尼崎市の工業用水道施設の概況

備考

- ・一津屋取水場 <昭和43年建設>
1企業団5市共同施設
(大阪広域企業団・大阪市・神戸市・尼崎市・西宮市・伊丹市)
- ・江口取水場 <昭和37年建設>
尼崎市工水の単独施設
- ・園田配水場 <昭和43年建設>
3市共同施設
(尼崎市・西宮市・伊丹市)
- ・神崎浄水場 <昭和42年建設>
尼崎市水道の施設を尼崎市工水も共同利用
平成14年から供用開始



3 管路の計画的更新と維持管理

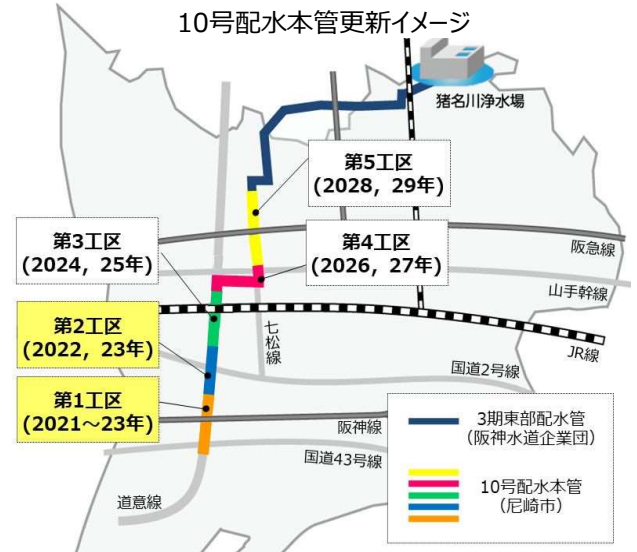
令和5年度 当初予算	2,110,664千円 水道：1,559,258千円 工業用水道：551,406千円	令和4年度 当初予算	4,146,242千円 水道：3,624,709千円（令和3年度繰越額1,782,203千円を含む） 工業用水道：521,533千円（令和3年度繰越額244,386千円を含む）	令和3年度 決算	816,374千円 水道：757,457千円（令和2年度繰越額693,996千円を含む） 工業用水道：58,917千円（令和2年度繰越額58,917千円を含む）
---------------	--	---------------	--	-------------	--

目的 水道・工業用水道の配水管について、「重要度・老朽度・耐震性」の3つの観点から更新優先度を設定し、事業費の平準化を図るとともに、水需要等の減少を考慮した配水管の大きさ（口径）で更新します。

令和5年度の事業内容

① **配水管の更新工事等（水道事業）**
約11.1kmの配水管の更新及び新設管の整備に合わせて、基幹管路と重要施設に至る管路等の耐震化を進めます。
また、本市において布設後60年近く経過し、最も口径の大きい配水管である10号配水本管の更新工事（第1、2工区）を実施します。

② **配水管の更新工事（工業用水道事業）**
約1.3kmの配水管の更新に合わせて耐震化を進めます。



【耐震化率の向上について】

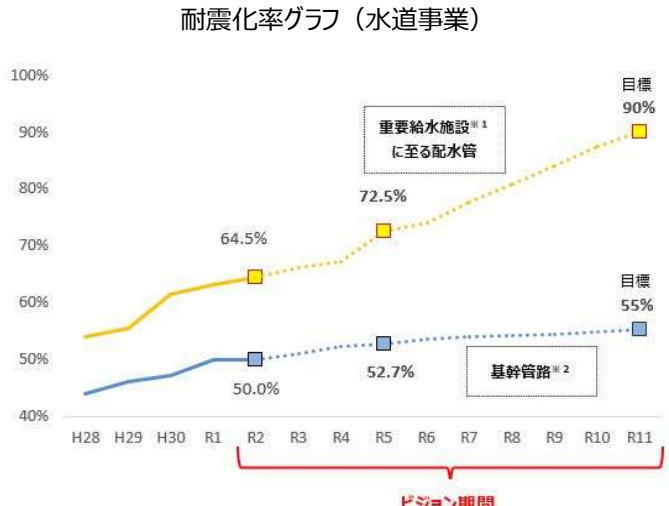
① **水道事業**
ビジョン期間中（令和2～11年度）に約100kmの配水管の更新を予定しています。
そのなかで、基幹管路の耐震化率は令和5年度は52.7%、重要給水施設に至る配水管の耐震化率は72.5%に向上させます。

② **工業用水道事業**
ビジョン期間中（令和2～11年度）に約6kmの配水管の更新を予定しています。
そのなかで、基幹管路の耐震化率は令和5年度は65.6%に向上させます。

【更新工事等の進捗状況について】 (R5.1末時点)

			R2	R3	R4 (R3繰越含)	R5 (R4繰越含)	R6
水道事業	計画	km	12.71	11.51	11.62	11.06	11.58
		(累計)	(12.71)	(24.21)	(35.84)	(46.9)	(58.48)
		進捗率	22%	41%	61%	80%	100%
	実績	km	9.16	3.85	14.38	21.71	9.38
	(累計)	(9.16)	(13.01)	(27.39)	(49.10)	(58.48)	
	進捗率	16%	22%	47% (予定)	84% (見込)	100% (見込)	
工業事業	計画	km	0.60	0.80	0.25	0.50	0.40
		(累計)	(0.60)	(1.40)	(1.65)	(2.15)	(2.55)
		進捗率	24%	55%	65%	84%	100%
	実績	km	0.00	0.47	0.48	1.30	0.66
	(累計)	(0.00)	(0.47)	(0.96)	(2.26)	(2.92)	
	進捗率	0%	19%	38% (予定)	89% (見込)	114% (見込)	

※端数処理を四捨五入により行っていることから、合計が一致しない場合があります。
※工業事業については、施工順序の組み換えを行ったため前期5年間の計画値を上回る。



備考

※1 **重要給水施設**
災害時に重要な拠点となる病院や透析実施機関、指定避難所や防災拠点など、人命の安全確保を図るため、給水優先度が特に高い施設

※2 **基幹管路**
水を供給するうえで基幹的な役割を担う管路で、導水管と配水本管のことをさす。
（導水管）： 河川などから取水した原水を浄水場まで導く管路
（配水本管）： 水道水を輸送分配する役割を持ち、口径300mm以上の配水管

4 配水ブロック化 (市内配水エリアの整理)

令和5年度 当初予算	—	令和4年度 当初予算	77,736千円 (令和3年度繰越額62,897千円を含む)	令和3年度 決算	15,284千円
---------------	---	---------------	-----------------------------------	-------------	----------

目的

本市の配水システムは、「管網」を形成しており、一部の管路が配水停止してもバックアップ機能が存在するという利点があるものの、大規模災害時の水圧低下等の課題があるため、市内を20のブロックに分割する配水ブロック化に取り組みます。これにより、断水範囲を局所化することができ、事故・災害時に迅速に断水を解消することが可能となります。

令和5年度の事業内容

① 北西部地域ブロック化

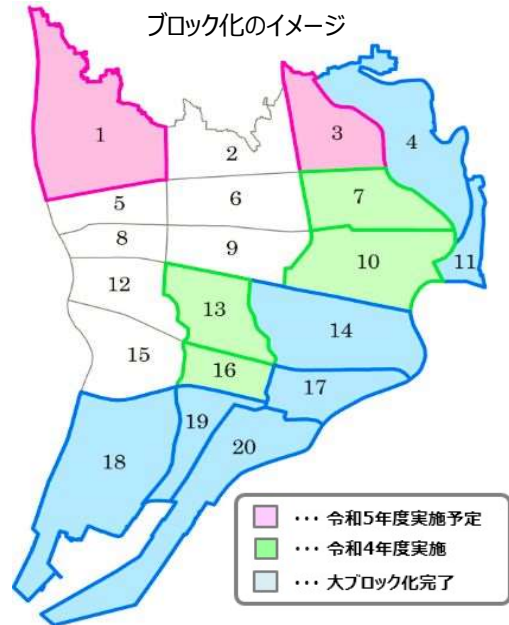
市内で最も標高の高い北西部地域(右図の1)については、ブロック化に必要な電動式流量調節弁の整備が完了したことから、令和5年度に配水ブロック化を完了させます。

② 大ブロック化

令和5年度も引き続き大ブロック化に取り組み、北西部地域1以外で1カ所(右図の3)の大ブロック化を完了させます。これにより、20カ所の大ブロックのうち13カ所の大ブロック化が完成します。

③ 水圧監視機器の整備

配水ブロック化による配水機能向上のため、災害時に水圧低下が想定される市内北部へ優先して水圧監視装置を設置します。(令和6年度に予算計上)



配水ブロック化は大きく4つの項目に分けて進めていきます。

○ 北西部地域ブロック化(系統ブロック化)(令和2~5年度)

本市は、4つの浄水場等から市内に配水しており、そのうちのひとつである野間ポンプ室から配水しているエリア(北西部地域)を配水ブロック化します。

○ 大ブロック化(令和2~7年度)

地形や管網の状況をもとに市内を20の配水ブロックに分割する大ブロック化を行います。この大ブロック化はブロック境界付近にある配水支管のバルブを操作することで実施します。※令和4年度は、4カ所(上図の7、10、13、16)の大ブロック化を実施しました。なお、令和4年度末で合計11カ所の大ブロック化が完成します。

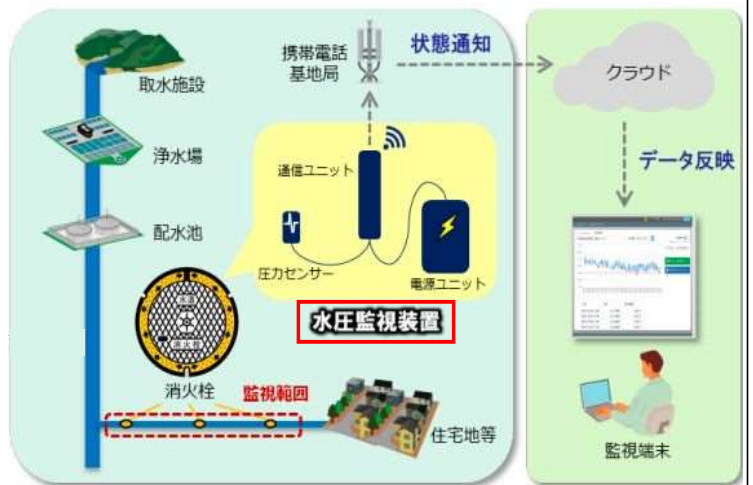
○ 小ブロック化

標高が高くなっている北部地域においては大ブロック化を行っても、その大ブロック内において高低差が生じてしまうため、効果的な応急復旧を行っていくためには、さらにブロックを細かく小ブロック化していくことが必要となります。小ブロック化は北西部地域ブロック化や大ブロック化の進捗に合わせて実施していきます。

○ 水圧監視機器の整備(令和4~11年度)

平常時の安定給水の確保及び事故・災害発生時における市内水圧を瞬時に把握するため、大ブロックごとに2カ所(20ブロックで40カ所)を基本として、水圧監視機器を整備します。

水圧監視システム(イメージ)



5 鉛製給水管の解消

令和5年度 当初予算	200,815千円	令和4年度 当初予算	169,845千円	令和3年度 決算	186,475千円
---------------	-----------	---------------	-----------	-------------	-----------

目的 公道部の鉛製給水管の取替工事を進めるとともに、鉛製給水管の使用者に対しては個別通知による情報提供を行い、鉛製給水管の取替促進を目指します。さらに、漏水が多い鉛製給水管を解消することで、有効率^{*}の向上を目指します。

令和5年度の事業内容

① **公道部の鉛製給水管の取替工事**
令和5年度は601ヵ所の鉛製給水管の取替工事を実施します。
また、併せて、老朽配水管の更新工事や給水管の漏水修繕工事の際にも取替を行います。

② **鉛製給水管の個別通知**
鉛製給水管を使用していることを各ご家庭（約6万件）に認識していただき、水道水を安心してご使用していただくための情報提供を目的として、令和元年度から個別通知を行っており、令和5年度は約14,000件へ送付します。また、個別通知によって、今後の建物の建替えや増改築工事等の際の参考にしていただくことで、鉛製給水管の取替を促進します。

計画目標

- **公道部の鉛製給水管の取替工事**
公道部の鉛製給水管については、ビジョン期間中の令和10年度の解消を目指し取り組みます。
- **鉛製給水管の個別通知**
すべての鉛製給水管使用者に対して、ビジョン期間中の令和6年度の通知完了を目指し取り組みます。
- **有効率の向上**
鉛製給水管の解消や配水管の更新などにより、有効率を現在の約97%（令和3年度）から国の目標値である98%にすることを目指します。

＜鉛製給水管の取替箇所数と残箇所数＞

備考

- ◇ **鉛製給水管への対応**
鉛製給水管に水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過し健康への影響も懸念されるため、尼崎市では平成12年度から各浄水場において水道水のpH調整（7.5）を行い、鉛の溶出を低減しています。
- ◇ **水道管等の財産区分**
給水管はお客様の財産となっており、取替や修繕などはお客様の原則負担によって行っていただくこととなっています。
- ※ **有効率**
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、どれだけ有効に利用できたかを示す指標

6 スtockマネジメント手法を取り入れた施設の維持管理

令和5年度 当初予算	3,773,761千円	令和4年度 当初予算	5,085,300千円 (令和3年度繰越額1,800,446千円を含む)	令和3年度 決算	4,908,224千円
---------------	-------------	---------------	---	-------------	-------------

目的 標準耐用年数を超える下水道施設が、今後、急激に増加するため、ストックマネジメント手法[※]を取り入れることにより、膨大な資産の劣化状況を把握し、優先順位をつけて、更新や修繕をします。また、施設の予防保全を強化し、より長く大切に使用し、効率的な施設の更新と費用の平準化を行います。

令和5年度の事業内容

① **管路の更新や老朽管調査など**
老朽化した管路を更新するとともに耐震性の確保を目的とした更生工事（17件、約3.5km）を実施します。また、今後の更新工事の実施に向け、管路（φ800mm以上）の老朽度を調査します。
＜債務負担行為（R5～R6）907千円＞

② **機械・電気等の設備更新工事**
設備の更新は、優先度が高いものについて劣化診断を行い、必要に応じた更新を、東部浄化センター他4機場において実施します。
＜債務負担行為（R5～R6）923,169千円＞



着工前 | 竣工後



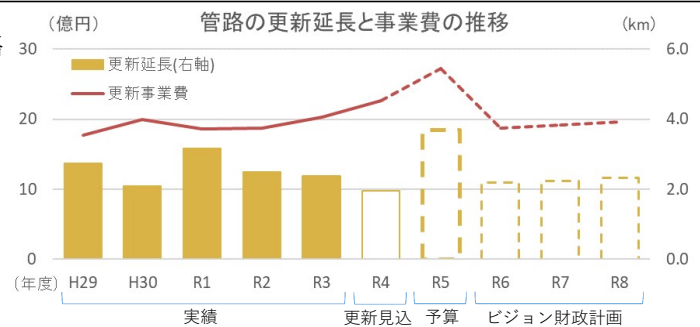
東部浄化センター 屋上防水 | 尾浜中継ポンプ場 ゲート設備 | 中在家中継ポンプ場 遠方監視設備 | 中在家中継ポンプ場 沈砂池設備 | 高田中継ポンプ場 汚水ポンプ設備 | 高田中継ポンプ場 ITV設備

【管路の更新スケジュール】
令和4年度から令和8年度末までにφ800mm以上の管路約200kmに対して約11kmの更新を予定しています。

【機械・電気等の設備の更新スケジュール】
設備の更新では、定期的な点検と修繕による予防保全の強化により、施設の延命化を図るとともに、建替えを見据えた効率的な更新サイクルを実施します。

※右の図は、目標耐用年数（標準耐用年数の概ね1.5倍～2.0倍）で機械・電気等の設備を更新し、更に建替えと連動した場合の更新サイクルでの耐用年数を表しています。

計画 (億円) 管路の更新延長と事業費の推移 (km)



目録 建替えに連動した更新サイクルの例

主要設備	供用開始	10年	20年	30年	40年	50年	60年	70年	80年	90年	100年
汚水ポンプ設備	30年			改築更新				改築更新			
雨水ポンプ設備	40年			改築更新	40年 → 45年以上			改築更新			建替え
電気設備	30年			改築更新				改築更新			
土木・建築構造物	75年										予防保全を強化

備考 ※ スtockマネジメント手法とは
持続可能な下水道事業の実現を目的に、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することにより、下水道施設全体のライフサイクルコストの低減を図るための手法である。

7 コンパクト化と統廃合検討を踏まえた施設の建替え（東部雨水ポンプ場）

令和5年度 当初予算	37,000千円	令和4年度 当初予算	53,221千円	令和3年度 決算	—
---------------	----------	---------------	----------	-------------	---

目的 昭和40年～50年代に集中的に整備した下水道施設の老朽化により、今後の建替え時期が集中することから、事業費の平準化を考慮した建替え時期の分散化に取り組み、90年間でポンプ場・浄化センターの全11施設の建替えを目指します。

令和5年度の事業内容

① 東部雨水ポンプ場の建替えに係る基本計画策定
 令和4年度に実施した基本構想業務の検討結果を基に、施設の容量計算等の基本的な条件を整理し、本事業を進めるための基本計画を策定します。また、小田南公園の阪神タイガースファーム施設整備に併せ、東部雨水ポンプ場内に計画される多目的運動グラウンドについても、関係機関と調整、検討を行います。

(東部雨水ポンプ場周辺の施設配置図)

【東部雨水ポンプ場の建替えスケジュール】

	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024	令和7年 2025	令和8年 2026	令和9年 2027	令和10年～ 2028～
休止施設						解体設計	休止施設解体	
建替え施設		基本構想+基本計画 (中在家雨水棟統合検討含む)			事業者選定	実施設計		施工～ (令和13年度完成)
事業計画変更			事業計画変更 (下水道法、都市計画法)					
その他	測量	地歴調査	土壌調査	☆		土地活用検討		

◇ 施設の建替えスケジュールについて

施設の建替えは、右図のとおりその時期を分散化した計画とし、東部雨水ポンプ場は、供用開始している施設の中で一番古い施設であり、建替え用地についても確保できていることから、今後10年間で新ポンプ場への建替えを目指します。

建替え用地	施設名称/年度	～2031	～2041	～2051	～2061	～2071	～2081	～2091	～2101	～2111
○	東部雨水ポンプ場	ポンプ棟								
○	西川中継ポンプ場	ポンプ棟								
×	大庄中継ポンプ場	雨水棟			管理棟					
×	尾浜中継ポンプ場	雨水棟						管理棟		
×	中在家中継ポンプ場	雨水棟						管理棟		
○	北部浄化センター				ポンプ棟		2系/3系/1系 水処理棟・管理棟			
○	東部浄化センター				ポンプ棟・プロワ棟					1系/2系水処理棟
×	栗山中継ポンプ場					ポンプ棟				
×	富松中継ポンプ場						ポンプ棟			
×	東灘波雨水ポンプ場							機械室棟		
○	高田中継ポンプ場								ポンプ棟	

8 応急給水拠点の整備及び市民や地域との連携の充実

令和5年度 当初予算	26,081千円	令和4年度 当初予算	53,997千円 (令和3年度繰越額26,004千円を含む)	令和3年度 決算	152,271千円 (令和2年度繰越54,471千円を含む)
---------------	----------	---------------	-----------------------------------	-------------	-----------------------------------

目的 災害時に給水を行う応急給水拠点は、既存の応急給水拠点に加えて、避難所となる小中学校や地域振興センター等において応急給水栓を令和8年度までに69カ所設置し、既存の耐震性緊急貯水槽7カ所と浄水場3カ所と合わせ、合計で79カ所整備します。
 今後も引き続き応急給水拠点の整備を行っていくとともに、市民の皆様が自身で応急給水拠点の開設を行えるよう、整備済みの拠点において定期的な訓練を実施していきます。

令和5年度の事業内容

① 応急給水拠点の整備
 応急給水拠点（配水支管）を5カ所（名和小学校・難波小学校・浜小学校・立花中学校・園田東会館）整備します。（令和5年度末31/45カ所）
 応急給水拠点の整備は、配水管分岐部から耐震管を布設し、給水栓を設置します。応急給水に使用する資機材については、ベンチ型の収納ボックスを設置するなど、現地に備蓄します。

② 応急給水拠点での訓練実施（年間約15回）
 整備が完了した拠点において、市民の皆様との応急給水訓練を実施します。
 また、マンホールトイレ（下水）の設営訓練とも合同で訓練を行います。



<応急給水栓とベンチ式倉庫>
 （南武庫之荘中学校）

計画

【応急給水拠点の整備】

○ 耐震化された配水本管※1から分岐した給水栓
 令和4年度で24カ所整備完了
 特に発災初期からの給水活動を確保するため、耐震化された配水本管と直結した応急給水栓を、全地域で市民の皆様の水の運搬距離がおおむね1km以内となるよう優先的に整備を進め、整備が完了しました。

○ 耐震化された配水支管※2から分岐した給水栓
 令和4年度末 26カ所整備完了予定
 令和8年度までに45カ所整備予定

【応急給水拠点での訓練実施】（年間約15回）

- 令和2年度 5回
- 令和3年度 4回
- 令和4年度 約15回（予定）
- 令和5年度 約15回（予定）

目標

<応急給水訓練の様子>



備考

※1 配水本管
 口径300mm以上の配水管で、管が太くて厚く、地震にも比較的強い管（配水管全体に対して、配水本管が占める割合は約11.7%）

※2 配水支管
 配水本管から分岐して給水管に至る管で、本管と比べると管の厚みは薄く、耐震化されていないと地震の被害を受けやすくなる。

9 マンホールトイレの設置・設営の推進など避難所等でのトイレ機能の確保

令和5年度 当初予算	95,227千円	令和4年度 当初予算	262,667千円 (令和3年度繰越額107,225千円を含む)	令和3年度 決算	70,105千円
---------------	----------	---------------	-------------------------------------	-------------	----------

目的 災害時のトイレ機能確保の一つとして、避難所となる小・中・高校を対象とした全68校へマンホールトイレ[※]の設置を進めます。また、被災時に地域住民がマンホールトイレの設営ができるように自主防災組織などと連携して設営手順や使用ルールの周知に取り組みます。

令和5年度の事業内容

① マンホールトイレの整備、設営訓練
 避難所となる小学校の内6校（武庫東小学校、園田北小学校、成文小学校、七松小学校、難波の梅小学校、金楽寺小学校）にマンホールトイレを整備します。



マンホールトイレの整備



トイレの設営

マンホールトイレ整備図



【凡例】
 ● 整備済み
 ● 令和4年度設置予定
 ● 令和5年度設置予定

設置が完了した避難所において、地域住民とのマンホールトイレの設営訓練を実施します。避難所に応急給水拠点（水道）がある場合は合同で訓練を行います。



立花南小学校での訓練の様子



地元消防団との訓練の様子

計画目標

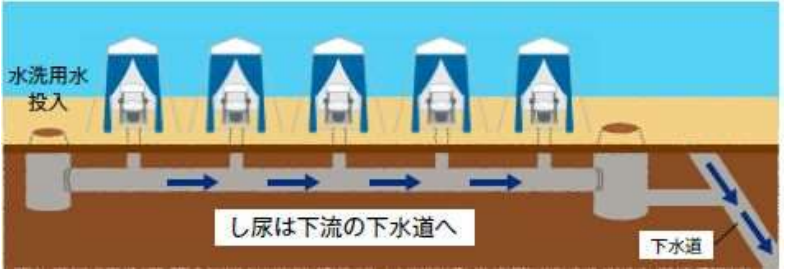
【マンホールトイレの設置、設営訓練スケジュール】

令和4年度末
24校設置完了予定

令和5年度以降
毎年6校ずつ整備及び設営訓練予定

備考

※ マンホールトイレとは
 専用の下水道管を布設し、発災時は便器を直接接続してテント等で囲うことで利用するトイレである。



10 雨水ポンプの能力増強や雨水貯留管の整備による施設能力の強化

令和5年度 当初予算	950,020千円	令和4年度 当初予算	1,734,071千円 (令和3年度繰越額938,297千円を含む)	令和3年度 決算	190,070千円
---------------	-----------	---------------	---------------------------------------	-------------	-----------

目的 浸水被害に対応するため、河川への放流量を増やすことができる区域は、雨水ポンプ[※]の能力を増強し、放流量を増やすことができない区域は、一時的に雨水を貯留する雨水貯留管を整備することで浸水被害の最小化を目指します。

① 雨水ポンプの能力増強

下水道施設の能力強化として、雨水排水能力の増強工事を実施します。なお、雨水ポンプの改築工事は1基あたり2年間を要します。＜債務負担行為（R5～R6）1,090,676千円＞

- ・大庄中継ポンプ場雨水ポンプ改築工事（⑧大庄分区）
令和4・5年度 1基実施、令和5・6年度 1基実施
- ・栗山中継ポンプ場雨水ポンプ改築工事（⑦武庫分区）
令和4・5年度 1基実施、令和5・6年度 1基実施



【雨水ポンプ能力増強計画スケジュール】

(ビジョン期間内予定数)

(令和4年度までに15基実施予定)		
令和5年度	2基	⑦, ⑧分区
令和6年度	2基	⑦, ⑧分区
令和7年度	3基	①, ⑦, ⑧分区
令和8～12年度	5基	①分区
計	12基	(合計：27基/49基)

上記の基数は、完成年度で計上しています。

分区名

① 東部第1分区	⑤ 西川分区
② 東部第2分区	⑥ 武庫分区 (武庫)
③ 東園田分区	⑦ 武庫分区 (塚口、富松、尾浜)
④ 園田分区	⑧ 大庄分区

◇ 武庫分区（⑥分区）の雨水貯留管整備について
雨水貯留管の整備に向け、詳細設計及び発進立坑用地（県立武庫荘総合高校用地）の事前準備工事を進めています。

※ 雨水ポンプ
下水道のポンプ場において、管路を流下してきた雨水を、河川などの公共用水域に放流するためのポンプ



1.1 経営の効率化（ICT等を活用したお客さまサービスの向上と業務の効率化） **NEW**

令和5年度 当初予算	7,935千円	令和4年度 当初予算	—	令和3年度 決算	—
---------------	---------	---------------	---	-------------	---


目的 ICTやデータ解析を用いて滞納整理業務及び受付業務の効率化を図るほか、すべての契約者に対する新たなサービスを創設し、お客さまサービスの向上とコストの最適化を目指します。

令和5年度の事業内容

① **自動音声（オートコール）やSMSによる案内**
 水道料金等の滞納に係る督促状等の発行枚数は年間18万枚を超えており、3,000万円以上の費用がかかっているため、自動音声電話とSMSを活用し発送前連絡を行うことにより、速やかな納付を促して納付忘れを防止し、督促状等の発行枚数の削減、さらには業務効率化による費用削減などを図ります。
 令和5年度は効果検証を含めたテスト導入を行います。

② **チャットボットの導入検討**
 チャットボットはスマートフォンなどで機械が答えるAI自動会話プログラムであり、24時間365日いつでも問い合わせ対応が可能な機能です。このチャットボットを活用し、より分かりやすく使いやすい水道の開閉栓の受付を行うだけでなく、電話受付や入力業務などの業務量を削減をすることで、委託費用の削減を目指します。
 令和6年度中のチャットボットの導入に向けて、令和5年度に問い合わせ内容の整理とデータ分析を行います。

チャットボット（イメージ）



計画

【督促状等の発行枚数の削減】 <R10目標：発行枚数 50%削減>
 ◇ 経費削減 ◇ 滞納防止 ◇ 停水抑止
 オートコールなどの活用により、これまでにない初期段階での対応が可能となるため、発行枚数の削減による印刷や郵送費用の削減につながるだけでなく、滞納整理の全体件数の削減を図ります。

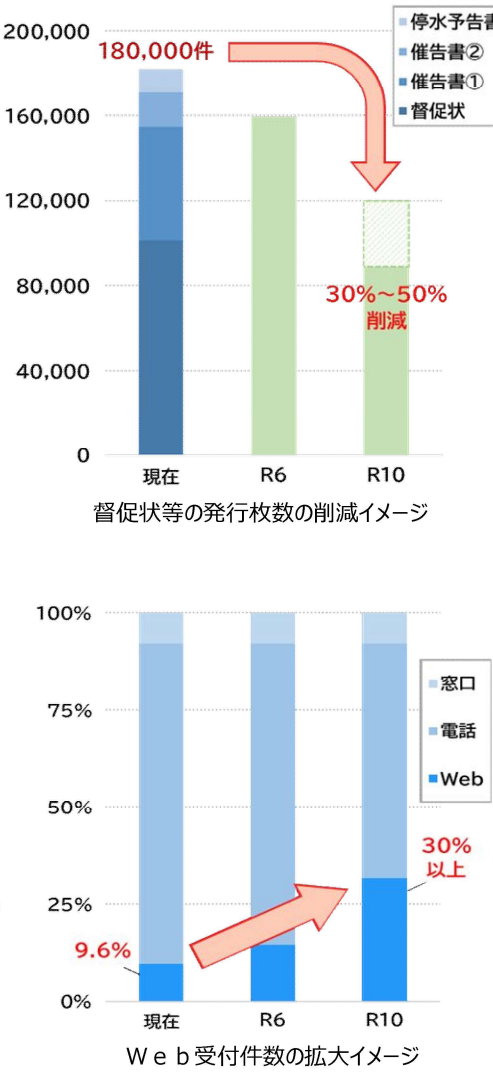
【Web受付件数の拡大】 <R10目標：Web受付件数30%以上>
 ◇ 誤記入の減 ◇ 受付日時の拡大
 チャットボット受付によるWebでの受付方法に移行することで、電話受付件数の削減による経費削減だけでなく、契約者が直接入力する形となるため、電話による聞き間違い等の防止につながります。将来的には開閉栓のみではなく、各種サービスや問い合わせへの初期対応などへ拡大していくことを視野に入れ、サービス強化並びに経費削減を図ります。

【新たなサービスの創設の検討】
 すべての契約者に対するサービスとして継続的に納期限内に収納を行った方々に対して優遇措置を行います。

○優遇措置案（令和6年度以降実施）
 対象：水道料金等を6期間（1年間）連続で納期限内納付を行った契約者
 必要経費：1件あたり数百円程度
 配布内容：水の利用を促す生活グッズ等
 特徴：納付期限を守っていただいているお客さまへの感謝の気持ちとして配布物やサービスを提供します。
 これらは時期に合ったサービス展開も可能で、市内の商業施設とタイアップすることも検討します。

目標

※口座振替を推奨するために行っていた口座振替割引（55円/1期）については、近年、クレジットカード決済やスマートフォン決済など利用者ニーズに合わせ、多様かつ利便性の高い支払方法が普及し、口座振替の推奨意義が低下してきたことから、令和5年11月をもって廃止する予定です。



12 広報・広聴 (ウォーターニュースあまがさき発行ほか)

令和5年度 当初予算	24,407千円 水道：15,148千円 下水：9,259千円	令和4年度 当初予算	47,907千円 水道：13,965千円 下水：33,942千円	令和3年度 決算	13,251千円 水道：5,829千円 下水：7,422千円
---------------	---------------------------------------	---------------	--	-------------	--------------------------------------

目的 水道、下水道は、快適な暮らしを支える重要な都市基盤であり、市民等の生活にとって欠くことのできないライフラインです。これらの大切さを市民の方々に改めて認識していただくとともに、事業に対する理解を一層深め、親しみを持ってもらうことを目的として、様々な取組を行っていきます。

- 令和5年度**
- ① **ウォーターニュースあまがさきの発行**
水道・下水道事業の広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の配布方法を、市報あまがさきへの挟み込みに変更します。(年4回発行予定)
 - ② **公営企業局ホームページのリニューアル** **NEW**
公営企業局ホームページを、よりわかりやすいものにリニューアルします。
 - ③ **市民まつりにおける啓発**
水道、下水道を身近に感じ、知っていただくため、尼崎市民まつりにブースを出して啓発します。
 - ④ **情報発信ほか**
災害情報や事業の内容について、ホームページでの情報発信に努めるとともに、グッズ等を施設見学や社会科学習で配布するなどして啓発を行います。



計画目標 水道、下水道事業について、積極的な情報発信や、お客さまとの相互コミュニケーションを図っていけるよう、より効果的で楽しむことのできる広報活動に取り組みます。

13 次期尼崎市ボートレース事業経営計画策定事業



令和5年度 当初予算	16,336千円	令和4年度 当初予算	9,405千円	令和3年度 決算	—
---------------	----------	---------------	---------	-------------	---

目的

現経営計画は計画期間を令和5年度までとしていることから、引き続きお客様の満足の充実・向上を前提とした事業経営を目指し、その使命を果たすため、次期経営計画の策定を行います。
策定にあたり、ボートレース業界や本市ボートレース事業の現状分析・現経営計画の総括を行い、その結果を踏まえて今後の売上向上策や収支見通し、場のあり方を設定します。

令和5年度の事業内容

① 次期経営計画策定支援業務委託

次期経営計画の策定作業に必要なデータ収集や分析、アンケート調査等については、次期経営計画策定支援業務委託（公募型プロポーザル方式）を実施します。

【次期経営計画策定スケジュール（予定）】

令和5年4月 計画策定支援事業者公募
10月 中間まとめ
12月 最終案策定（政策推進会議）
経済環境企業委員協議会へ報告



計画

【次期経営計画策定に向けてのポイント】

- ・好調な電話投票について、利用者数のさらなる拡大と定着について検討します。
- ・モーヴィの整備等により増加しつつある子育てファミリー層来場者の定着、さらなる増加を図るため、親子で利用しやすいサービスや、地域に開かれたボートレース場となるような取組を検討します。

【次期経営計画の概要】

① 現状分析

ボートレース業界全体及びボートレース尼崎の売上や傾向について、発売形態ごとの動向等を分析します。

② 現経営計画の総括

現経営計画に定める行動原理に基づく取組や、収支見通しなどの成果や達成状況について評価します。

③ 次期経営計画の取組

取組の核となる使命、目指すありたい姿、行動原理は現経営計画のものを引き継ぐことを基本とし、具体的な取組に関しては、現経営計画の総括的評価や現状分析等を踏まえたものとなるよう検討を行います。

④ 目標となる収支水準の設定

新たな取組に対する投資判断を行う際には、長期的な収支見通しが不可欠です。そういった経営上の判断に資するような、安定的な経営を図れる収支水準を設定し、経営目標として掲げていきます。



目標

【現経営計画に定める使命及び目指すありたい姿】

備考

- ・使命
「ボートレースを通じ、お客様に感動を与え、尼崎のまちづくりに寄与する」
- ・目指すありたい姿
I 公営企業として、安定した経営基盤を確立し、健全な経営を行う
II お客様に喜ばれ、地域に親しまれるボートレース場を目指す
III 利益で本市財政に貢献する

14 売上向上事業

令和5年度 当初予算	419,757千円	令和4年度 当初予算	609,874千円	令和3年度 決算	173,277千円
---------------	-----------	---------------	-----------	-------------	-----------

目的 公営企業として安定した経営基盤を確立し、健全な経営を行うとともに、利益で本市財政に貢献するため、電話投票（インターネット投票）での発売に重点を置き、利用者数の更なる拡大と定着を図るとともに、GⅡボートレース甲子園を開催することで売上の向上を目指します。

令和5年度の事業内容

① 電話投票売上向上事業

(ア) YouTubeライブ予想配信事業
令和4年度は、人気パチスロライター等による対決企画番組に加えて、ライトユーザー層にも届きやすい内容の番組を配信することで電話投票売上を押し上げており、令和5年度は配信日をレース開催全日程に拡大することで、利用者数の更なる拡大と定着、売上の向上を目指します。

(イ) 電話投票キャンペーン事業
ボートレース尼崎の電話投票会員クラブ「アマチャン」の運営とキャッシュバック等のキャンペーンを引き続き実施します。加えて、令和5年度はアマチャン会員を本場に招待するプレミアムツアー（選手グッズ抽選、ゲストタレントトークショーなど）を年12回開催し、アマチャン会員の増はもとより、既存会員の一層の囲い込みを図ります。


(ウ) ピットレポート配信事業
利用者が求めるより質の高い情報（ピットでの選手の雰囲気や意気込み、モーター情報、レース展開など）をリアルタイムで提供していくことなどにより、ボートレース尼崎のファン獲得に努めます。

② GⅡボートレース甲子園開催運営事業

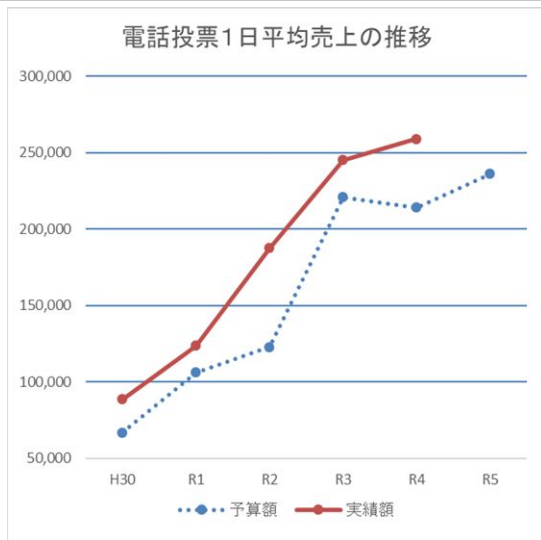
【開催日程】
令和5年7月4日（火）～令和5年7月9日（日）

【イベント】

- ①選手紹介セレモニー、優勝セレモニー等
- ②本場でのステージイベント、トークショー等
- ③YouTube ライブ予想配信
- ④電話投票キャンペーン など



計画 今後もコロナ禍による社会経済活動への影響は不透明ですが、収束に向かえば旅行や会食などのレジャーの多様化により、電話投票売上の減少が予想されます。こうしたことから、令和5年度の売上は、令和4年度決算見込額に対して一定の減少が見込まれますが、上記の取組を実施することにより電話投票1日平均売上は236,297千円となると見込んでいます。



(参考) 電話投票1日平均売上(GⅡ以上を除く)の推移及び予算額

(単位:千円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	66,888	106,088	122,956	220,942	214,178	236,297
実績額	88,725	123,698	187,473	245,343	259,162	-

※令和4年度の実績額は12月補正後予算額(=決算見込額)。

15 施設整備事業

令和5年度 当初予算	635,514千円	令和4年度 当初予算	463,661千円	令和3年度 決算	20,042千円
---------------	-----------	---------------	-----------	-------------	----------

目的

老朽化が進む施設を計画的に更新することで、安全、安定的にレースを運営するため、築50年程度経過し耐久性に課題がある建物の建替え、ボート置場の傾斜の解消、ピット数の充実など競技エリアの改修を行います。
また、近年の気象状況の変化等による「風」のレースへの影響を抑止し、安全にレースを開催するために防風ネットを設置します。

令和5年度の事業内容

① 競技エリア施設整備事業 **NEW**

競技エリアの整備については、レースを開催しながらの施工となるため、全体工期の短縮が見込め、かつ、長期のレース非開催期間をできるだけ避けるために、設計と施工を一括発注する「デザインビルド方式」での発注を予定しています。
令和5年度は、競技エリア施設整備事業の事業者選定を行い、その後、基本・実施設計業務を行う予定です。

【競技エリア施設整備事業の概要】

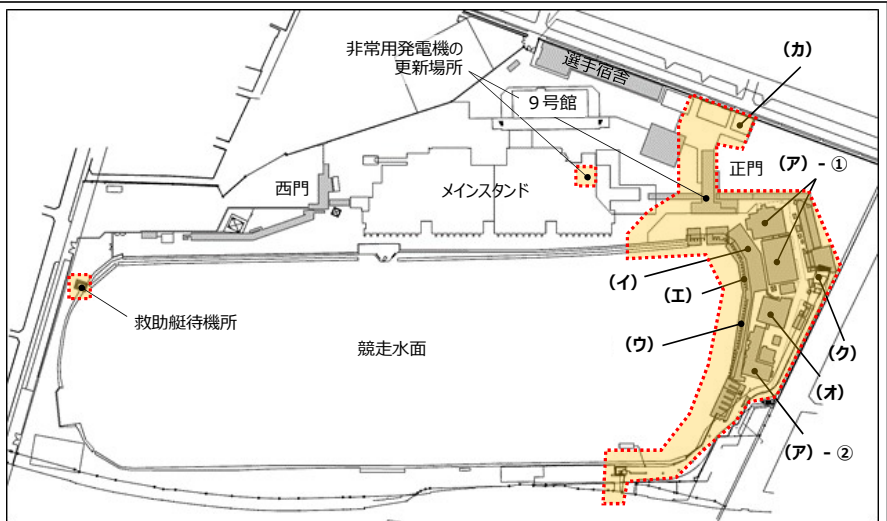
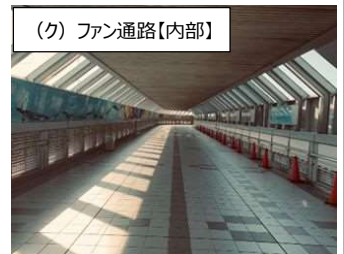
- ・総事業費：4,435,000千円
- ・事業期間：令和5～8年度
- ・事業内容
 - (ア) 艇庫、検査棟、選手控室等整備
 - (イ) ボート置場整備
 - (ウ) ピット整備
 - (エ) ボート揚降設備更新
 - (オ) 競技本部改修
 - (カ) 非常用自家発電設備更新
 - (キ) 練習参加選手用施設整備
 - (ク) ファン通路改修及びエレベータ設置



② 防風ネット整備工事

風の影響を軽減し、安全にレースを開催するために、防風ネットを整備します。

【ボートレース尼崎 工事計画概要図】



計画目標

※ すべて現在の施設の写真である。